

テーマ

これからの地域政策に
求められる姿とは？

適用
分野

地方財政、地域経済



研究
名称

地域政策のデザインと評価に関する研究

氏名
所属

林亮輔 教授
経済学部 経済学科

内容

●研究内容

グローバル化の進展に伴う産業の空洞化、少子高齢化の進行、東京一極集中など、地域が直面しているこれらの環境変化は、地域経済のパフォーマンスを弱体化させるとともに、地方の財政状況を悪化させます。そして、ひとたび地域の経済力・財政力が減退すると、企業や人口のさらなる流出を招くという「負の連鎖」を招くこととなります。このような状況のもと、地域経済・地方財政を再生させるためには、科学的根拠に基づいた政策立案（EBPM：Evidence Based Policy Making）が求められています。以上の問題意識を背景に、公共部門の活動に焦点を当て、これからの公共政策（とりわけ地域政策）に求められる姿について研究しています。

政策のデザイン
に関する研究

地域経済のパフォーマンスを最大化できる企業立地（地域空間構造戦略）に関する研究、道路や空港などの社会資本整備が地域経済に及ぼす影響についての研究、地域間連携に資する都市圏域の研究などを行っています。

政策評価
に関する研究

非効率的な行財政運営を改善するには、政策評価が重要であることから、地方行政全般、人件費、公営バス事業、空港事業などの効率性に関する研究、バランスト・スコアカードに関する研究を行っています。

●特徴

理論を踏まえた実証研究

データを収集・加工・分析できればEBPMになるというわけではありません。「なぜ若者が地域から流出するのか？」という問題にしても、その背後には地域経済に関する理論があります。対処療法的ではなく真に効果を発揮するEBPMとするには、問題が発生している現在の地域経済構造にメスを入れる必要があります。そのためには地域経済に関する理論を把握しておかなければならないのです。以上のことを踏まえ、地域経済が抱える様々な問題について、地域経済に関する理論に基づき、計量経済学の手法によって研究を行っています。

社会への研究成果の還元を意識した現実ベースの研究

学術の発展に資する研究であるとともに、実際の政策立案にも寄与する研究を目指しています。これまで蓄積してきた研究成果を踏まえながら、国や自治体の委員会等において提言を行っています。

主な社会での活動実績

- 厚生労働省 地域雇用活性化推進事業
支援コンサルタント
- 兵庫県神戸市 都市圏活性化研究会アドバイザー
- 鹿児島県鹿児島市
鹿児島市交通事業経営審議会委員
- 大阪商工会議所 税制委員会幹事会幹事
- 株式会社EBPM研究所 リサーチフェロー



その他の活動実績

キーワード

自治体の政策評価、公民連携、広域連携、空間構造戦略、公共投資政策、税制

連携方法

- 講演
- 研修
- 研究相談
- 学術調査
- コメント
- 共同研究